

# 福島県在宅保健師の会「絆」会報

## 会長あいさつ 七宮ひろみ



新型コロナウイルス感染の続く中で、会員の皆様どの様な毎日をお過ごしでしょうか。最前線で活動されている保健所をはじめ、医療関係者の皆様の逼迫状況のニュースを聞くたびに胸が痛みます。「絆」の会の活動も自粛せざるを得ない状況となりましたが、後期高齢者重症化予防訪問指導や市町村特定保健指導の受託事業を中心に感染予防対策をして個別支援活動を行ってきました。少しでも市町村の保健活動の支援ができたのではと思っています。

先日、国保中央会の会議がDVDに収録されて送付されてきました。今、国の保健事業の最重要課題は、コロナ禍の中で、高齢者の閉じこもりによるフレイル対策であること、保健事業と介護予防事業の一体化に向けての活動、健康危機管理対応といずれに於いても在宅保健師の会活動への期待が大きいことが伺えました。

コロナ対策の保健師確保においては、人材バンクへの登録を進めており、さらなる拡大を求めています。絆の会でも活動可能な会員をできるだけ増やし協力していきたいと思います。この会報が手元に届く頃には、コロナ対策が進展し、感染が少しでも収まっていることを祈ります。



## 令和元年度福島県在宅保健師の会「絆」総会・研修会 令和2年9月5日(土) 福島市男女共同参画センター ウイズ・もとまち



令和元年度総会が会員17名の出席により開催されました。

新型コロナウイルス感染症が拡大し、国による緊急事態宣言が発令され、開催そのものが危ぶまれましたが、感染予防に注意しながら開催できました。当日は、マスク着用、参加会員の体調チェック、手指の消毒、会場の換気、ソーシャルディスタンスを保つために、1テーブルに一人着席とし、感染予防の観点で参加者による記念撮影は、【中止】としました。

○令和2年度事業内容については、保健師劇団公演や研修会の実施、地区会活動、連合会受託事業である後期高齢者医療重症化予防事業や特定健診・保健指導人材育成事業、特定保健指導低率保険者へ支援活動することが承認されました。また、令和2年度総会は、令和3年9月に福島市内で開催予定です。

○総会終了後に、福島県国保連合会保健事業課武田係長より「高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施について」というテーマで講話してもらいました。

人生100年時代を見据えて健康寿命の延伸を図るため、高確法、国民健康保険法、介護保険法が改正され、生活習慣病などの疾病予防・重症化予防と介護予防・フレイル対策(運動・口腔・栄養等)を一体的に実施する仕組みが創設されました。これにより、後期高齢者医療広域連合は、後期高齢者の保健事業を市町村に委託し、市町村において介護保険の地域支援事業や国保の保健事業と一体的に実施します。市町村では、KDBシ

システムを活用し、地域の健康課題の整理分析をした上で、アウトリーチ支援と通いの場等への積極的関与をすることとなりました。福島県内では、令和2年度59市町村の内21市町村が実施を予定していて、令和6年度までにすべての市町村がこの事業に取り組むこととなっています。保健師に求められている役割としては、事業全体の企画・調整・分析等を行うコーディネーターの役割と高齢者の健康状態をトータルにとらえて支援する個別的支援者です。

### 【研修会参加者の感想】

- ・開催することができて感謝です。
- ・国の動きを含めた県内の市町村の動きまで説明いただき、良かった。
- ・高齢者を取り巻く現状を切に感じるものがあります。まずは、自分自身の健康維持と周囲の人たちと共に健康づくりを進めていきます。これらに関する情報を今後お願いします。
- ・大変わかりやすく説明いただきありがとうございました。国の方針を知ることができました。

## 令和2年度都道府県在宅保健師等会全国連絡会



中央会 原理事長

今年度は、開催形態が変わり、資料と解説動画をDVDに格納し、送付されたものを聴講ということになりました。現在のコロナ禍でも可能な形です。内容を紹介させていただきます。

中央会原理事長、丸山路代会長の挨拶の後「保健事業を取り巻く国の動き」を国保中央会常務理事中野透氏より、一体的実施における通いの場は住民主体等での運営によるが、地域活動をしていた行政の医療専門職のOB等にボランティアとしてかかわってもらうこともありうる。また、新型コロナウイルス感染症対策における保健師の確保に向けた取り組みとして、人材バンク登録への協力依頼があり、会員の内約500名が登録しているという報告がありました。

講演は、

- ①「高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施について」厚労省保健局高齢者医療課 主査 橋本亜紀子氏
- ②「松戸市における高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施について」  
千葉県松戸市 高齢者支援課地域包括ケア推進担当室 主任保健師 小島麻奈氏
- ③「蒲郡市における高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業について」  
愛知県蒲郡市 市民福祉部健康推進課 課長補佐 千賀典子氏

- ④「健康危機管理対応について」厚労省健康局健康課 保健指導室長 加藤典子氏  
事例発表として、

- ①「岡山県災害時公衆衛生活動に関する協定までの経緯と支援  
-おかやま在宅保健師等の会「ももの会」の活動を通して-」

岡山県国保連合会 保健事業課保健推進班主査(保健師) 早川さつき氏

- ②「新型コロナウイルス感染症対応について」鳥取県在宅等保健師の会「梨花の会」会長 美船智代氏  
最後に、「在宅保健師等会に係る災害支援等の状況について」国保中央会 保健事業専門幹 三好ゆかり氏より、「地域保健対策の推進に関する基本的な指針の改定」が予定されている。平時からの健康危機管理体制整備の観点上、保健所や本庁も含めた全庁的な対応が必要な課題である、との説明でした。



## 特定健診受診率・保健指導実施率向上のための人材育成事業

研修名	効果的な特定健診・保健指導の実践を目的とした研修		糖尿病重症化予防に係る管理栄養士の資質向上に向けた研修	
月 日	令和2年10月7日	令和3年3月16日	令和2年8月25日	令和2年11月17日
受講者数	10名	14名	13名	9名

この研修は、「絆」の会員に希望を取り市町村支援が可能な会員に受講していただき、特定健診・特定保健指導に係る基本と実践の基礎を学び、資質向上を図ることを目的に実施し、32名の方に参加いただいています。

国の動き等情勢や福島県の実態と課題を知り、健診・医療・介護データの一体的な分析から、重症化予防・介護予防対象者の把握方法を学び、事例検討で実践からの学びを深めました。

・データの読み取りから本人の状況の  
とらえ方まで事例で学ぶことができました。  
・科学的な根拠に基づいた指導が相手の  
心を動かすと思った。

#### 【感想】

・「保健指導の原理・原則」について、もう一度基本に戻り、住民の意識が変わって行動につながられ、健康管理につながられるような保健指導ができればよいかと思いました。

### 健診・保健指導 10%アップ推進事業 令和2年度国保特定保健指導受託パイロット事業

平成20年度から開始された「特定健診・保健指導」は、内臓脂肪型肥満症候群(メタボリックシンドローム)に着目し生活習慣を改善することにより、糖尿病等の生活習慣病を予防することを目的に実施されていますが、福島県の特定保健指導実施率は、平成29年度29.2%と全国平均26.9%より2.3ポイント高くなったものの、国目標値の60%には及ばない状況が続いています。低率の要因の一つとして、この事業への人員配置ができないことがあげられているため、連合会では一時的に人員を補完することを目的に、在宅保健師の会「絆」の協力により、5保険者から特定保健指導の受託事業を実施しました。

1 実施保険者 相馬市 田村市 川俣町 大熊町 飯舘村

★実施に当たっては、平成29年度特定保健指導率が県平均に満たない保険者を優先し、準備段階から御協力頂き、話し合いをさせていただきました。  
3月中に終了予定です。



2 協力会員

14名

★会員の皆様とは、事前の全体打合せや各保険者における直前打合せ、中間話し合い等を重ね、原則訪問による保健指導を実施していただきました。

### 新会員のお知らせ

[令和2年3月～令和3年2月入会]

6名の新会員をお迎えしました。一緒に活動できることうれしく思います。  
皆様、どうぞよろしくお願いいたします。新会員の一言です。(入会順)



【県中・県南 鈴木栄子】

昨年3月に退職し、再任用で仕事をしております。

福島県内でも新型コロナウイルス感染症の感染収束が見えず、日々奮闘しているところです。わが身の健康にも留意しながら、頑張ります。よろしくお願いいたします。

【県北 伊藤加与子】

在宅保健師の会に入会し、早1年が過ぎようとしています。9月の総会を欠席しましたので、皆様にお会いする機会もなく失礼しています。先輩方の足跡を追いながら、少しでも役に立てることができればと入会しました。

いまだに何もできずにおりますが、現在働いている場所で自分にできることを頑張っているところです。今、コロ

ナ禍にあり、「住民の健康を守る」保健師の仕事の幅の広さと深さを改めて感じています。皆様とこのような話ができることを楽しみにしています。これからもよろしくお願いします。

#### 【県北 斎藤直子】

コロナ終息の目途が立たず、1年が過ぎようとしています。会員の皆様も思うように活動ができず、すっきりしない毎日と思います。そのような中、人と関わる活動が望まれるのが保健師だと思います。今できる活動をしようと感染防止に心がけ、取り組む今日この頃です。

#### 【県北 近江邦子】

昨年の3月に退職し、在宅保健師の会「絆」に入会させていただきました。昨年9月の総会に出席した際、先輩方や懐かしい仲間にお会いし、退職後も元気に生活している姿に触れ、「保健師は最後まで保健師なんだなあ」と感じる事ができました。

また、人生100年時代、これからの40年をどう生きるかを模索していた私にとって、先輩方の姿は大変参考になっております。現在、再任用で仕事はしておりますが、皆様の後ろ姿に学びながら心豊かに過ごしていきたいと思っておりますので、今後ともどうぞよろしくお願いします。

#### 【県北 富樫文子】

昨年から国保連の研修会に参加し、改めて生活習慣病について幅広く、深く学ぶことができました。コロナ禍で閉塞感が拭えない状況ですが、今できることを精一杯やりたいと思っています。今後ともよろしくお願いします。

#### 【県中・県南 菊地陽子】

今年度入会しました菊地です。よろしくお願いします。

受託事業で市町村の特定保健指導を数件お手伝いさせていただきましたが、初心を思い出しながら、また新たな気持ちで保健師活動をすることができ、とても貴重な経験になりました。

会員  
募集中

#### 会員の申し込みを随時受け付けています。(入会費・年会費無料)

お知り合いの方がいらっしゃいましたら、申込書類をお送りしますので、下記事務局まで連絡をお願いします。会員になるとこんなにいいことが!!(入会金・年会費無料)

- ★無料で研修会を受講できます。
- ★地区会での交流会に参加できます。
- ★今までのキャリアをいかして、市町村保健活動の支援ができます。
- ★会報が届きます。



《令和3年2月末現在会員数 70名》

#### 編集後記

新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、私たちの周囲の環境は大きく変化しています。人との距離を保つことが感染予防ですが、「マスクの着用」「手洗い」「密を避ける」等に注意しながらも心のふれあい・寄り添いを大事にしなが、ポジティブに元気に乗り切っていきましょう。(菅野誓子)

#### 福島県在宅保健師の会「絆」会報 第20号

発行日:令和3年3月

事務局:福島県国民健康保険団体連合会

保健事業課保健事業係

〒960-8043 福島市中町3番7号

TEL024-523-2754 FAX024-523-2704